

第 68 回日本生理学会中国四国地方会

日 時：平成 28 年 11 月 5 日（土），6 日（日）
場 所：岡山大学 Junko Fukutake Hall（岡山県岡山市）
当番幹事：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学分野 松井秀樹
参加者数：88 名
演 題 数：28 題

第 68 回日本生理学会中国四国地方会は、平成 28 年 11 月 5 日（土）から 6 日（日）の 2 日間、岡山大学の Junko Fukutake Hall において開催されました。岡山大学の松井秀樹（細胞生理学分野教授）が当番幹事を、西木禎一（同分野准教授）が実行委員長をそれぞれ務めさせていただきました。本年度は、奨励賞（学生部門）候補の 8 演題を含め、分子レベルから個体レベルの研究まで幅広い 28 演題の発表があり、35 名の学生を含む計 88 名の方にご参加いただきました。また、初日の最後には丸中良典理事長にお越しいただき、「生理学の魅力を通じた日本生理学会の将来展望」と題して基調講演をしていただきました。丸中先生を含め多くの方々に、二日目最後の一演題に至るまで聴講いただき、すべての発表に対して活発な質疑ならびに討論が行われました。特に今年度は、20 代および 30 代の参加者からの質疑が途切れることがなかったことが印象的でした。最後になりましたが、第 68 回日本生理学会中国四国地方会の運営をご支援くださいました諸団体、財団、企業の皆様には、この場をお借りして心からお礼を申し上げます。来年、徳島大学大学院医歯薬学研究部（歯学系）口腔分子生理学分野の吉村弘教授が当番幹事をされる第 69 回も、盛会になることを心からお祈りいたします。

奨励賞（学生部門）受賞者二名（順位なし）

岡本嵩史（山口大学）

難波利治（高知大学）

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 36～p. 46 をご覧ください。